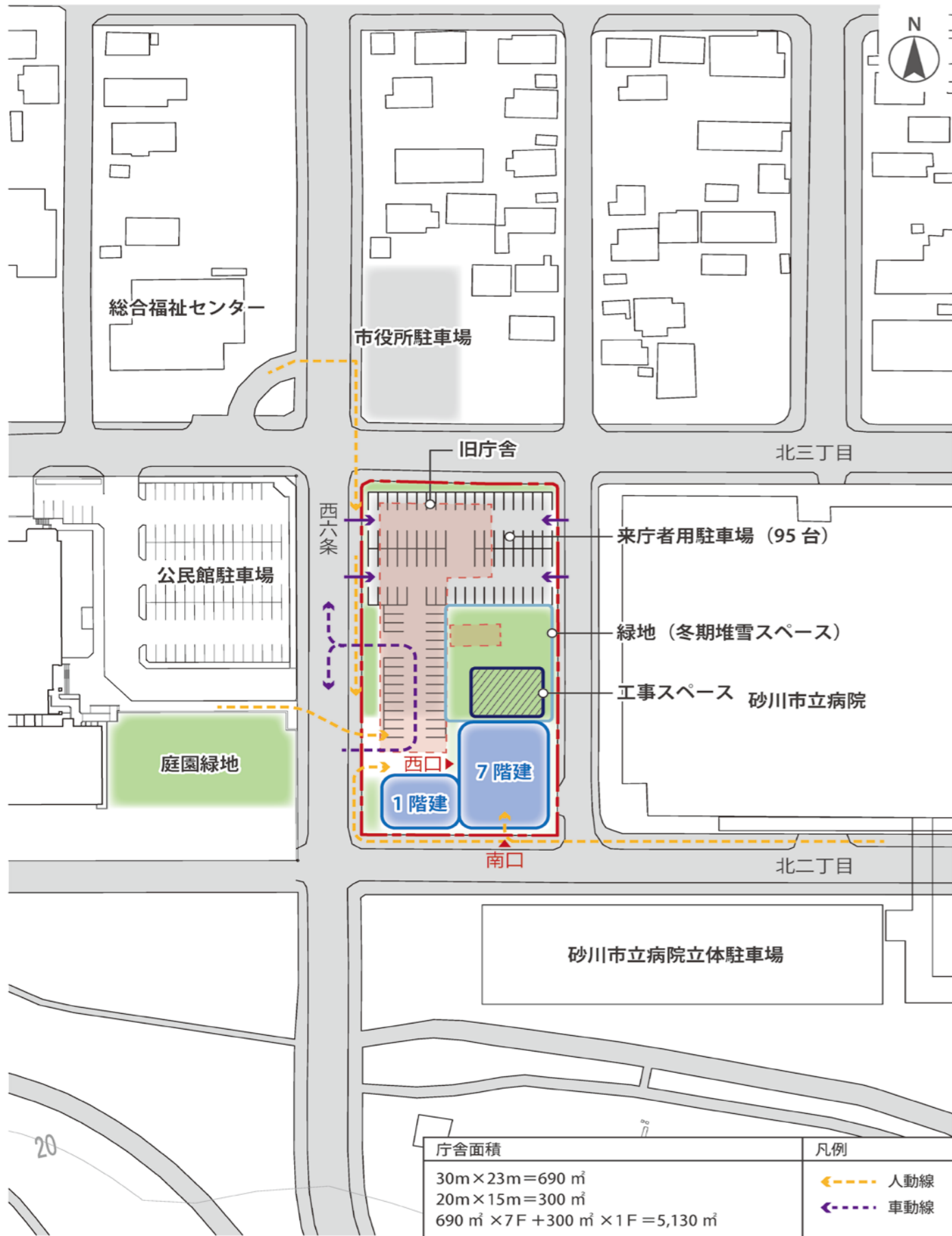


候補地①【現庁舎敷地】概略配置イメージ図（案）



候補地選定のための相対評価

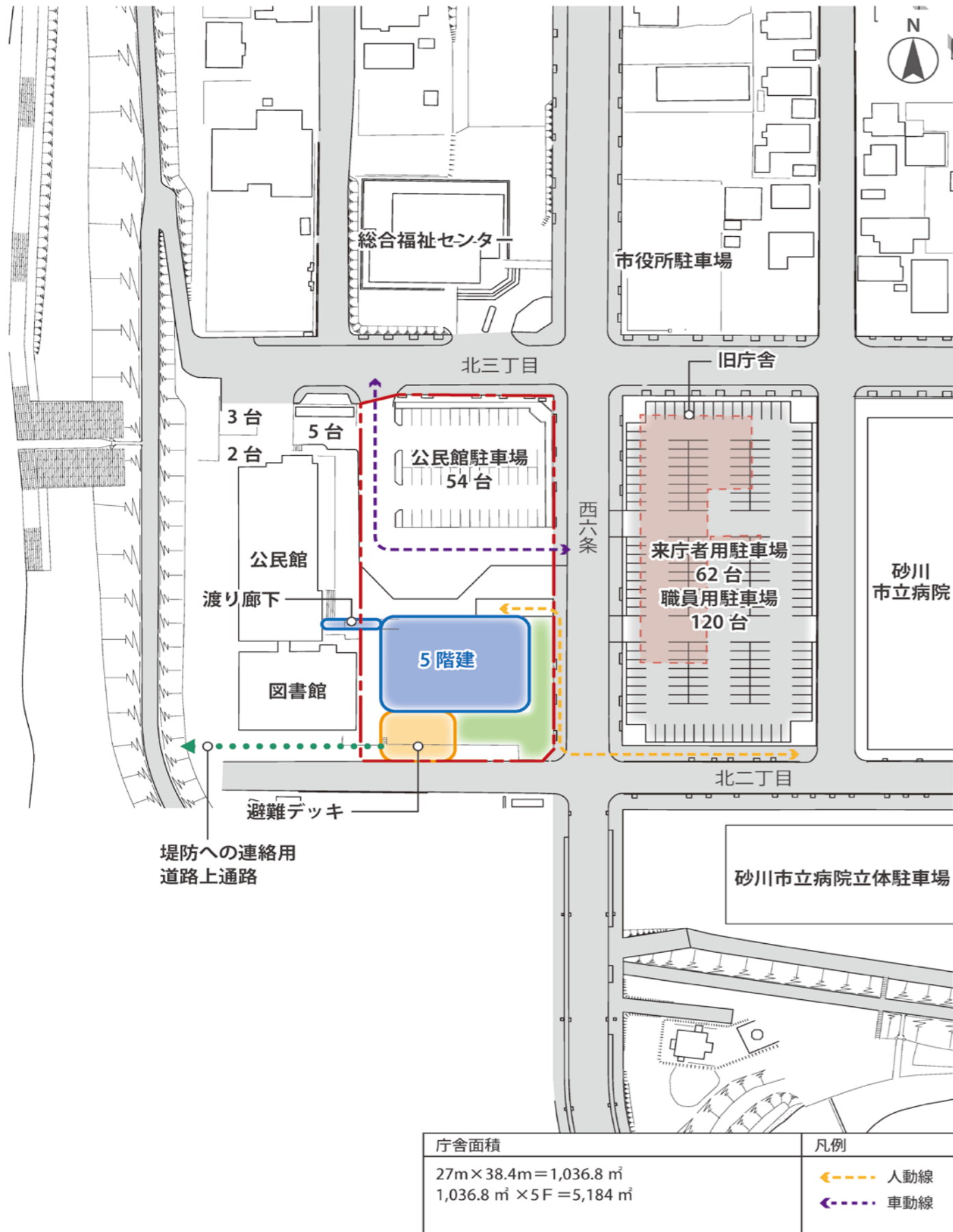
メリット	デメリット
<p><b>【立地条件と防災性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周辺への交通障害もなく、行政・福祉ゾーンであることから、落ち着いた、静かな場所である。</li> <li>日影による周辺環境への影響がない。</li> </ul> <p><b>【市民の利便性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現地建替えのため、長年慣れ親しんだ場所なので安心感がある。</li> <li>福祉関連施設や病院と近いことなどから、利便性は良い。</li> </ul> <p><b>【地域活性化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商業地域との距離も現在と変わらず、整備により駐車場が潤沢となる。</li> </ul> <p><b>【事業の経済性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>庁舎は想定規模5,100㎡として7階建一部1階建にて現地の空地に建築面積をコンパクトにし、仮庁舎を建てずに現庁舎を使用しながら建設する計画が可能。</li> <li>公民館と図書館の地下にある現在の公用車庫がそのまま使えるので、建設規模を減らすことができる。</li> </ul> <p><b>【事業の実現性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市有地であるので、事業計画及び事業実施がスムーズである。</li> </ul>	<p><b>【立地条件と防災性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石狩川の溢水、洪水時には庁舎が浸水する可能性が高い。</li> <li>石狩川の堤防が決壊等する恐れがあるときは、事前に浸水想定区域外(総合体育館などの公共施設)に災害対策本部を移設する可能性があることから、人・車等の移動に若干時間がかかる。</li> </ul> <p><b>【事業の経済性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現庁舎のスロープが使えなくなるので、代替設備が必要となる。</li> <li>建設、解体、外構と事業期間がほぼ3年間に及ぶことから、来庁者の駐車場がなくなり、仮駐車場が必要。</li> <li>工事期間中は職員駐車場の移転(中央小跡地など)が必要。</li> </ul> <p><b>【事業の実現性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工事上の環境保全と安全管理が強く必要となる。</li> <li>工事場所が近接するため、庁舎への日照障害や工事騒音、正面玄関の出入り制限など、様々な課題がある。</li> <li>工事場所に余裕がないため、資材搬入などで、周辺道路の片側通行など交通制限がかかる。</li> <li>完成後は広い敷地の南隅に7階建(高さ29m程度)の塔状の庁舎が建ち、バランスの悪い配置結果となる。</li> <li>旧庁舎解体時の安全性の面から、南側にも出入口が必要になり、玄関が南側と西側に出来て、1階プランの動線に不合理が生じる。</li> </ul>

建設概算事業費

建設概算事業費		
基盤整備費	土地取得費	—
	土地造成費	—
	道路整備費	—
庁舎整備費	インフラ整備費(上下水など)	—
	庁舎建設費(地上7階建一部1階建)	25.6億円～28.2億円
	駐車場整備費	1.1億円～1.3億円
庁舎整備関連費	外構整備費(排水工・植栽工含む)	(上記に含む)
	庁舎解体費	0.9億円～1.0億円
	既存施設解体費	—
	仮設駐車場整備費	0.5億円～0.6億円(中央小跡地砂利敷)
諸経費	関連施設整備費	0.3億円(スロープ解体及び仮設スロープ設置)
	庁舎什器備品費	2.0億円～2.3億円
	庁舎内ネットワーク整備費	3.1億円
	引越費	0.2億円～0.3億円
その他(設計費など)		1.2億円
合計		35億円～38億円

注) 建設事業費については、現時点での概算であり、今後の経済状況ならびに、建設市況、設計仕様などにより変動する可能性があります。

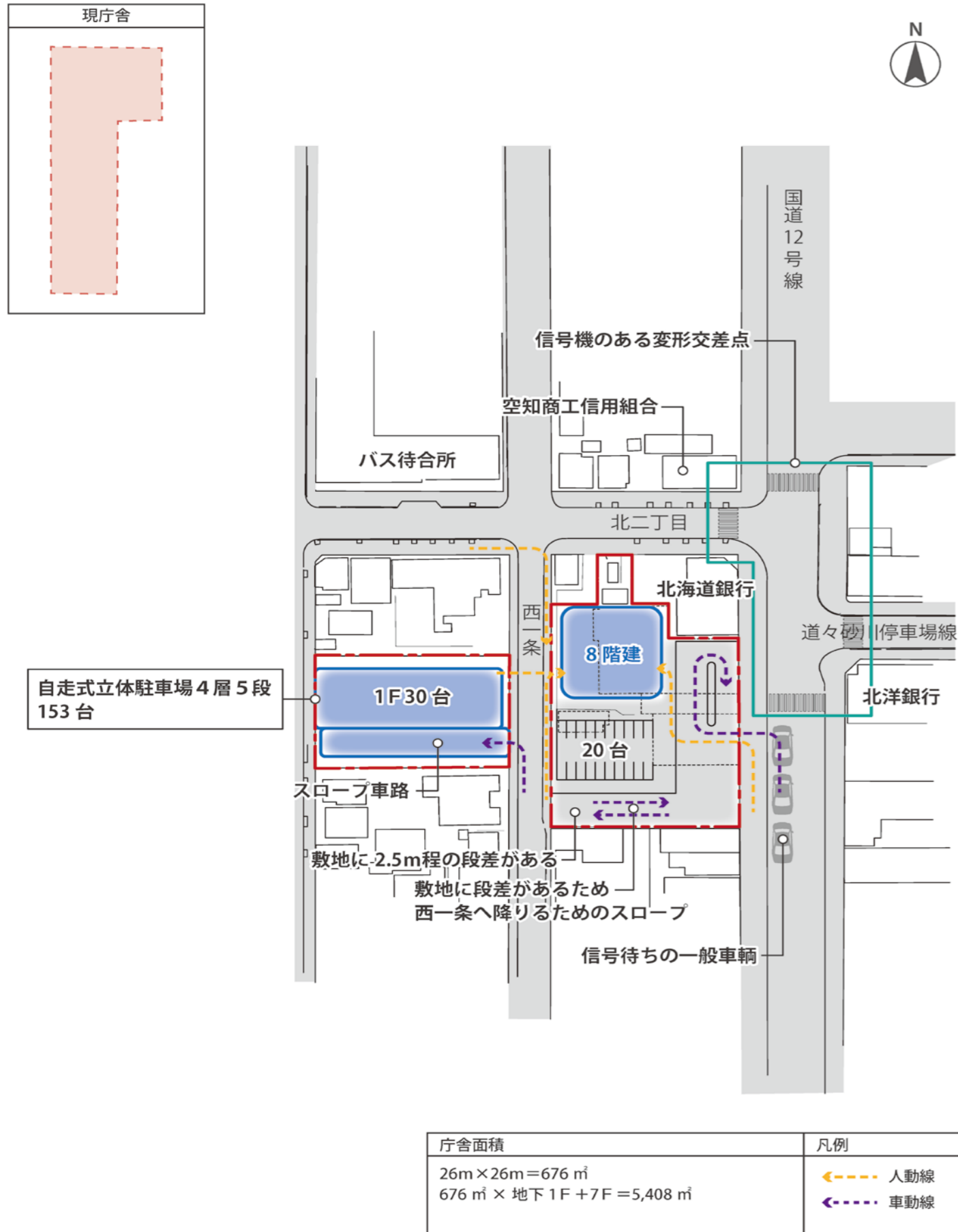
候補地②【公民館駐車場】概略配置イメージ図（案）



候補地選定のための相対評価		
メリット	デメリット	
<p><b>【立地条件と防災性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周辺への交通障害もなく、行政・福祉ゾーンであることから、落ち着いた、静かな場所である。</li> <li>日影による周辺環境への影響がない。</li> <li>水害対策として道路上を通路にて庁舎と堤防を結び、救援活動や避難の緊急用通路が確保できる可能性がある。(管理者と要協議)</li> </ul> <p><b>【市民の利便性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ほぼ現在地と変わらないことで安心感がある。</li> <li>福祉関連施設や病院と近いことなどから、利便性は良い。</li> <li>公民館、図書館へ渡り廊下にて結ぶ案の可能性がある。</li> </ul> <p><b>【地域活性化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商業地域の距離も現在と変わらず、整備により、駐車場が潤沢となる。</li> </ul> <p><b>【事業の経済性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地の形状に合わせ、庁舎は想定規模約5,100㎡として5階建として建築面積をコンパクトに建設。</li> <li>公民館と図書館の地下にある現在の公用車庫がそのまま使えるので、建設規模を減らすことができる。</li> </ul> <p><b>【事業の実現性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市有地であるので、事業計画及び事業実施がスムーズである。</li> </ul>	<p><b>【立地条件と防災性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石狩川の溢水、洪水時には庁舎が浸水する可能性が高い。</li> <li>石狩川の堤防が決壊等する恐れがあるときは、事前に浸水想定区域外(総合体育館などの公共施設)に災害対策本部を移設する可能性があることから、人・車等の移動に若干時間がかかる。</li> </ul> <p><b>【事業の実現性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図書館前の庭園が無くなる。</li> <li>公民館の職員用駐車スペースが減る。(職員は周辺の市有地に分散駐車で解消が可能)</li> <li>工事場所が近接するため、工事騒音や資材搬入などで、周辺道路の片側通行など交通制限がかかる。</li> </ul>	
建設概算事業費		
	土地取得費	—
基盤整備費	土地造成費	—
	道路整備費	—
	インフラ整備費(上下水など)	—
庁舎整備費	庁舎建設費(地上5階建)	25.9億円～28.5億円
	駐車場整備費	1.4億円～1.6億円(旧庁舎跡地)
	外構整備費(排水工・植栽工含)	0.25億円～0.30億円(新庁舎アプローチ)
庁舎整備関連費	庁舎解体費	0.9億円～1.0億円
	既存施設解体費	0.1億円(公園改修)
	仮設駐車場整備費	—
	関連施設整備費	0.5億円～0.8億円(堤防への連絡通路、避難デッキ)
諸経費	庁舎什器備品費	2.0億円～2.3億円
	庁舎内ネットワーク整備費	3.1億円
	引越費	0.2億円～0.3億円
	その他(設計費など)	1.2億円
	合計	36億円～39億円

注) 建設事業費については、現時点での概算であり、今後の経済状況ならびに、建設市況、設計仕様などにより変動する可能性があります。

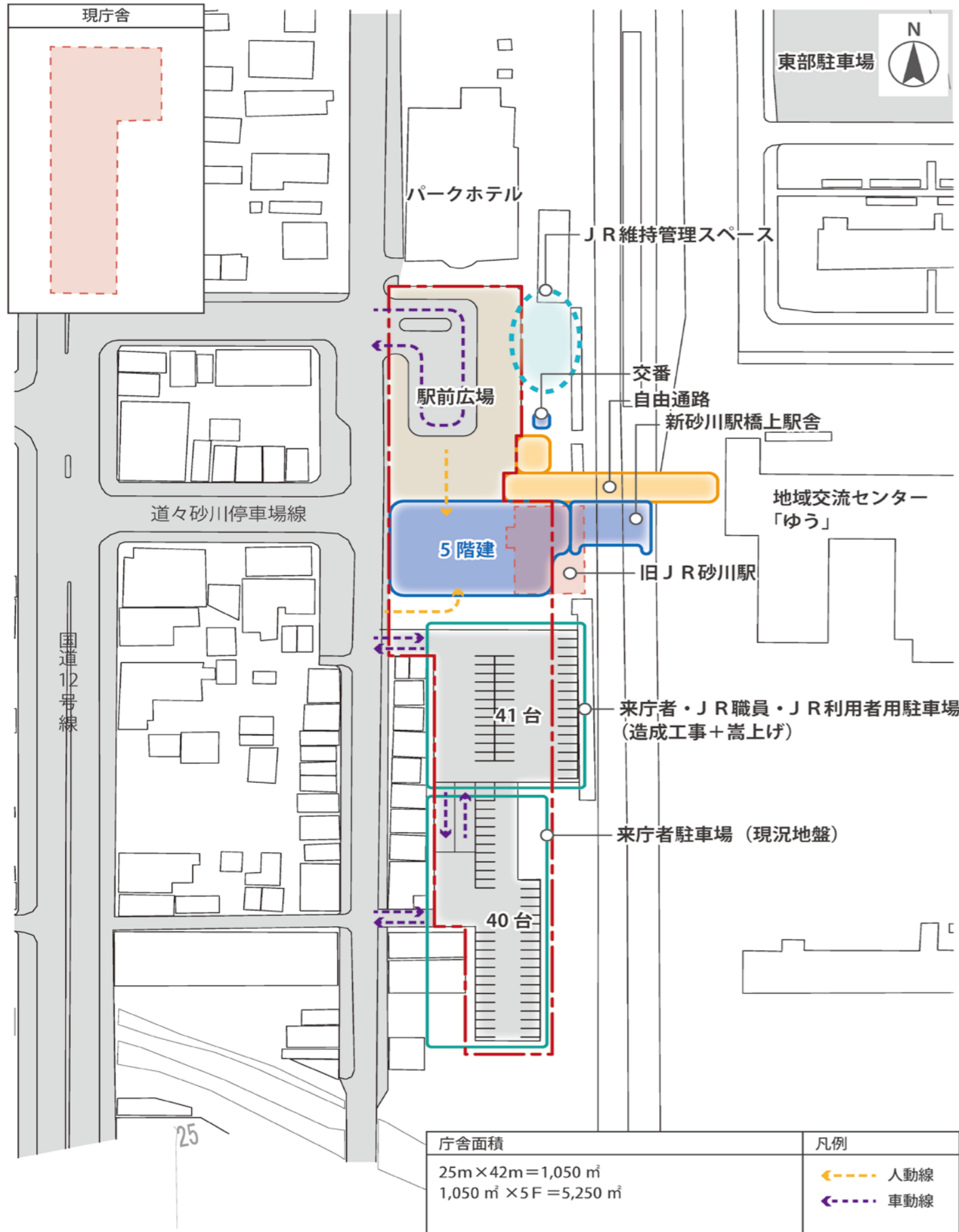
候補地⑥【西1北2パーラーランド周辺】概略配置イメージ図（案）



候補地選定のための相対評価		
メリット	デメリット	
<p><b>【立地条件と防災性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中心市街地(商業地域)に位置し、買い物などに便利でJRやバス待合所にも近く、交通へのアクセスが良い。</li> </ul> <p><b>【市民の利便性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院や薬局、金融機関とも近く、歩いて所用が済ませられる。</li> <li>・ 北二丁目の歩道は病院までロードヒーティングが施されている。</li> <li>・ 駐車場が立体駐車場となることから、屋根が有り、雨や雪に対して防雨、防雪効果がある。</li> </ul> <p><b>【地域活性化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商業地域の中に位置し、来庁後の購売や消費に期待。</li> <li>・ 旧庁舎解体後の跡地の利活用で別施設などの計画が可能となる。</li> <li>・ 立体駐車場は市民駐車場として利用が可。但し、閉庁後の不法駐車などの対応が必要。</li> </ul> <p><b>【事業の実現性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 用地の段差を利用して、西一条側からの出入りとなる地下の公用車庫の計画が可能。</li> </ul>	<p><b>【立地条件と防災性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石狩川の溢水、洪水時には庁舎が浸水する可能性が高い。</li> <li>・ 石狩川の堤防が決壊等する恐れがあるときは、事前に浸水想定区域外(総合体育館などの公共施設)に災害対策本部を移設する可能性があることから、人・車等の移動に若干時間がかかる。</li> <li>・ 災害時には対応のための屋外スペースが必要であるが、スペースに余裕がない。</li> </ul> <p><b>【市民の利便性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉関連施設とは若干離れる。</li> </ul> <p><b>【地域活性化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 閉庁後や、休祝祭日は、人口空洞化地区となり、地域の沈滞化が懸念される。</li> </ul> <p><b>【事業の経済性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存施設の解体のための費用が必要。土地の取得のための費用が必要。</li> <li>・ 地階が出来るため、工事費が増える。</li> </ul> <p><b>【事業の実現性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道からのアプローチが変形交差点の信号待ちの一般車輛と動線が重なり、出入り際の渋滞や事故が懸念される。</li> <li>・ 工事場所が狭隘であるため、工事上の騒音や工事車輛の出入りなどで近隣への様々な影響がある。</li> <li>・ 西2条北2丁目の用地(現駐車場)には来客や職員用の駐車場が平面では確保出来ないため、立体駐車場となる。</li> <li>・ 庁舎の他に立体駐車場の維持、管理の費用が必要となる。</li> <li>・ 現在契約している駐車場利用者のスペースがなくなる。</li> </ul>	
建設概算事業費		
土地取得費 1.0億円(土地公示価格による)		
基盤整備費	土地造成費	—
	道路整備費	—
	インフラ整備費(上下水など)	—
庁舎整備費	庁舎建設費(地上7階建地下1階建)	27.8億円～30.3億円
	駐車場整備費	1.4億円～1.6億円(旧庁舎跡地)
	外構整備費(排水工・植栽工舎)	0.6億円～0.7億円
庁舎整備関連費	庁舎解体費	0.9億円～1.0億円
	既存施設解体費	1.05億円～1.1億円
	仮設駐車場整備費	—
	関連施設整備費	2.5億円～3.0億円(立体駐車場)
諸経費	庁舎什器備品費	2.0～2.3億円
	庁舎内ネットワーク整備費	3.1億円
	引越費	0.2億円～0.3億円
	その他(設計費など)	1.2億円
合計 42億円～46億円		

注) 建設事業費については、現時点での概算であり、今後の経済状況ならびに、建設市況、設計仕様などにより変動する可能性があります。

候補地⑦【駅前地域】概略配置イメージ図（案）



候補地選定のための相対評価

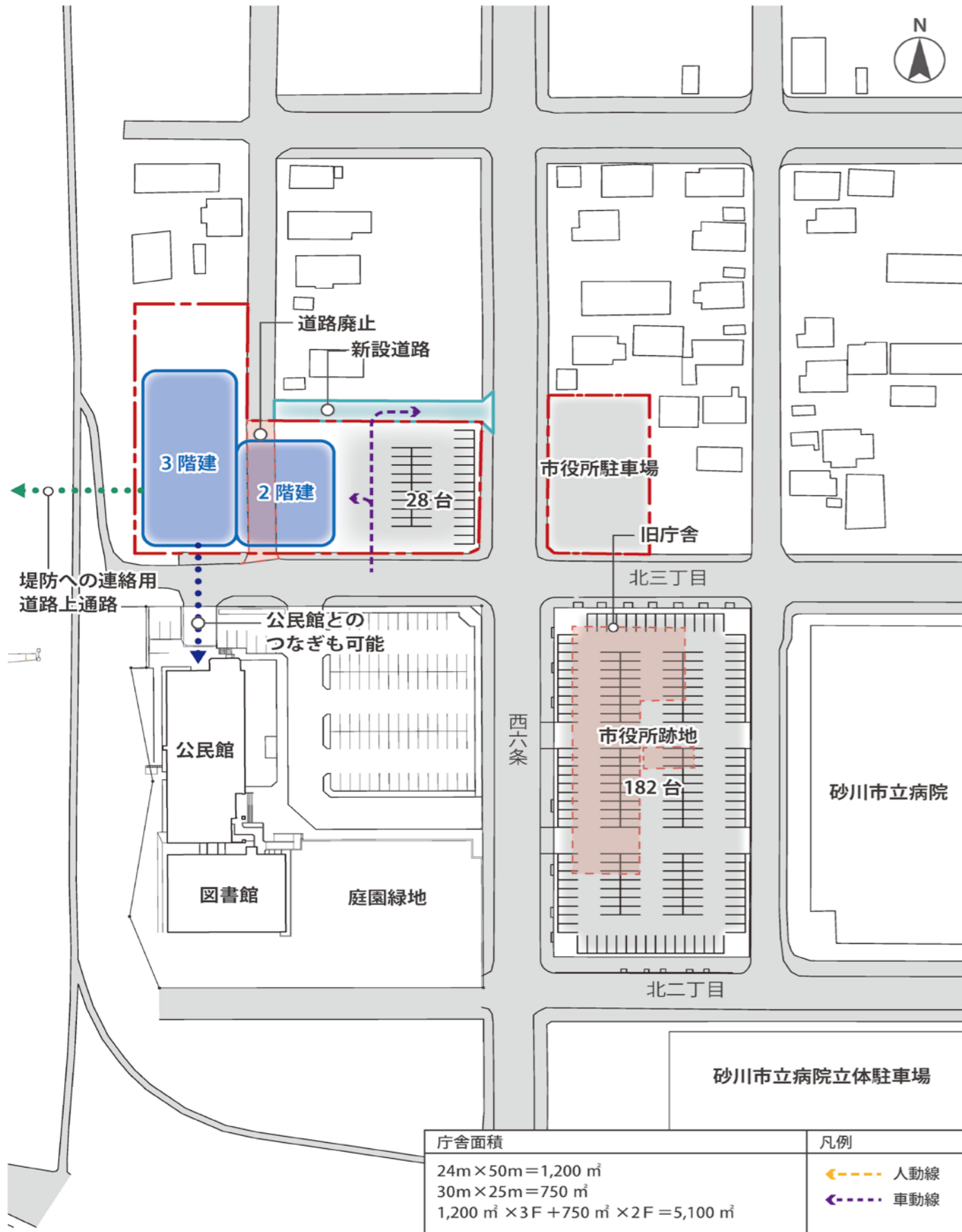
メリット	デメリット
<p><b>【立地条件と防災性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅の真横で自由通路及びJR駅と直結。</li> <li>中心市街地(商業地域)に位置し、買い物等に便利でバス待合所にも近い。</li> <li>40cm1階床を上げることにより、浸水被害から免れることができる。</li> </ul> <p><b>【市民の利便性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自由通路とつなぐことが可能であることから東部地区から徒歩による来庁や市街地への回遊が容易となる。</li> <li>病院や薬局、金融機関とも近く、歩いて所用が済ませられる。</li> </ul> <p><b>【地域活性化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商業地域に位置し、来庁後の購売や消費に期待。</li> <li>旧庁舎解体後の跡地の利活用で別施設などの計画が可能となる。</li> <li>地域交流センター「ゆう」との連携が図られる。</li> </ul> <p><b>【事業の経済性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公用車と職員駐車場は駅東部の市有地に設けることが出来、自由通路による登庁が可能。</li> <li>上記により、公用車庫面積が本庁舎規模より差し引かれ、建設規模が削減出来る。</li> </ul>	<p><b>【立地条件と防災性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>庁舎入口アプローチと駅前広場が近接し共用となることから、人・車の混雑と安全性の配慮が必要。</li> </ul> <p><b>【市民の利便性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉関連施設とは若干離れる。</li> </ul> <p><b>【地域活性化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>閉庁後や、休祝祭日は、人口空洞化地区となり、地域の沈滞化が懸念される。</li> </ul> <p><b>【事業の経済性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園や交番、現駅舎の撤去、橋上駅舎、タクシープール工事、駅前広場、駐車場の嵩上げ整備など事業費がかかる。</li> <li>現駅前広場の下に6系統の流雪溝を分岐する分水槽があり、移設する工事が発生する。</li> </ul> <p><b>【事業の実現性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅関係の人の動線と閉庁後の庁舎施設との動線の管理区分が必要。</li> <li>土地取得及び取得費の交渉及び橋上駅舎の設計を含む実現性の調整などが必要のため、事業計画及び事業期間が長期化する可能性がある。</li> </ul>

建設概算事業費

建設概算事業費		0.6億円(土地公示価格による)
土地取得費		0.6億円(土地公示価格による)
基盤整備費	土地造成費	—
	道路整備費	1.1億円~1.3億円(駅前広場)
	インフラ整備費(上下水など)	0.5億円~0.6億円(流水溝整備)
庁舎整備費	庁舎建設費(地上5階建)	26.3億円~28.9億円
	駐車場整備費	1.4億円~1.6億円(旧庁舎跡地)
	外構整備費(排水工・植栽工舎)	1.9億円~2.0億円
庁舎整備関連費	庁舎解体費	0.9億円~1.0億円
	既存施設解体費	0.8億円~1.0億円(旧駅舎・タクシープール上家・交番・公園)
	仮設駐車場整備費	0.5億円(東部市有地)
	関連施設整備費	10.0億円~12.0億円(仮駅舎、橋上駅舎、交番)
諸経費	庁舎什器備品費	2.0億円~2.3億円
	庁舎内ネットワーク整備費	3.1億円
	引越費	0.2億円~0.3億円
その他(設計費など)		1.8億円
合計		51億円~57億円

注) 建設事業費については、現時点での概算であり、今後の経済状況ならびに、建設市況、設計仕様などにより変動する可能性があります。

候補地⑧【市役所周辺】概略配置イメージ図（案）



<p>庁舎面積</p> <p>24m×50m=1,200㎡</p> <p>30m×25m=750㎡</p> <p>1,200㎡×3F+750㎡×2F=5,100㎡</p>	<p>凡例</p> <p>←--- 人動線</p> <p>←--- 車動線</p>
---	---

候補地選定のための相対評価

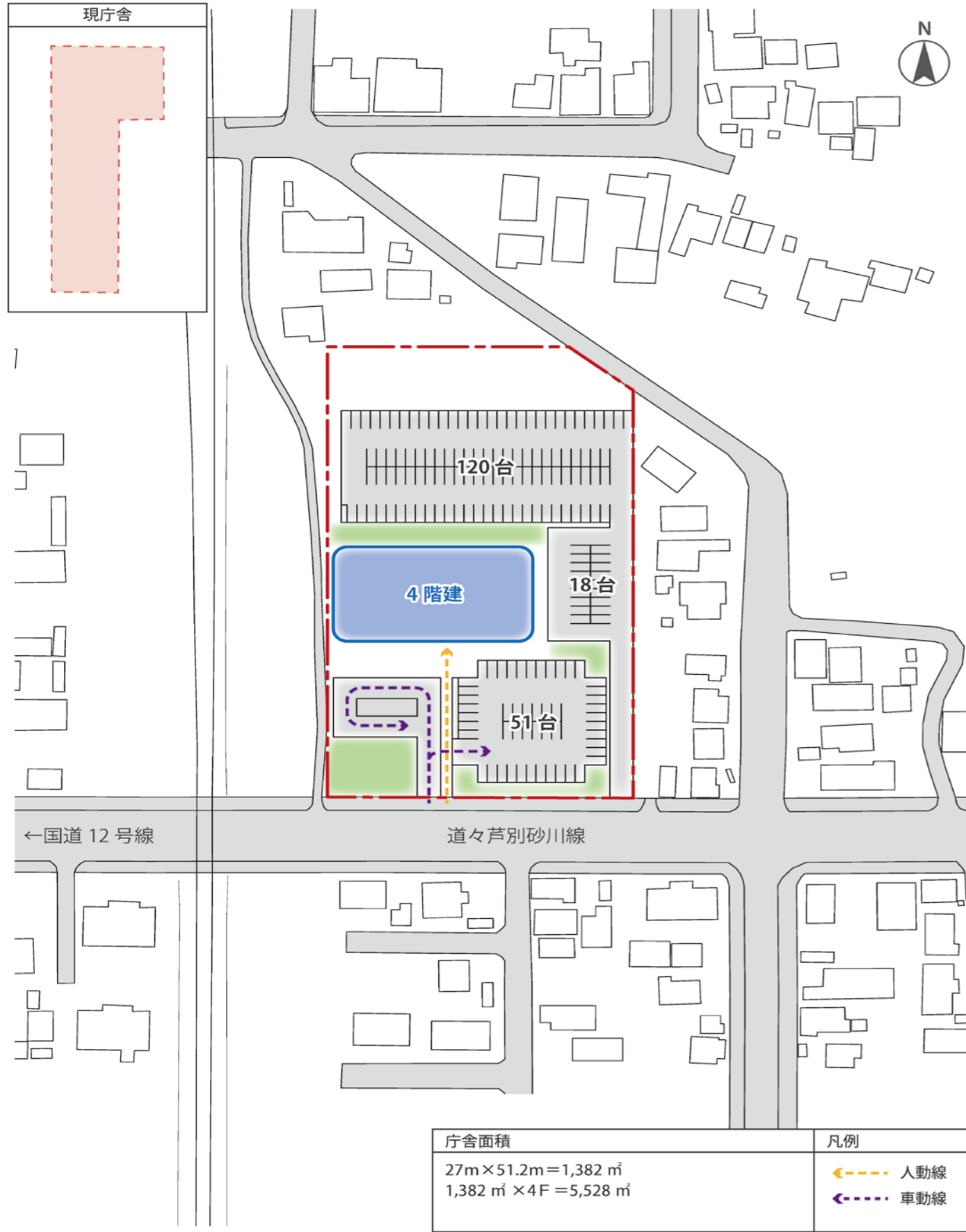
メリット	デメリット
<p><b>【立地条件と防災性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>周辺への交通障害もなく、行政・福祉ゾーンであることから、落ち着いた、静かな場所である。</li> <li>水害対策として道路上を通路にて庁舎と堤防を結び、救援活動や避難の緊急用通路が確保できる可能性がある。(管理者と要協議)</li> </ul> <p><b>【市民の利便性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ほぼ現在地と変わらないことで安心感がある。</li> <li>福祉関連施設や病院と近いことなどから、利便性は良い。</li> <li>公民館、図書館へ渡り廊下にて結ぶ案の可能性がある。</li> </ul> <p><b>【地域活性化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>商業地域の距離も現在と変わらず、駐車場が潤沢となる。</li> </ul> <p><b>【事業の経済性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こども通園センター、総合福祉センターの土地を一括にし、土地活用が図れる。</li> <li>公民館と図書館の地下にある現在の公用車庫がそのまま使えるので、事業費の抑制につながる。</li> </ul> <p><b>【事業の実現性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市有地であるので、事業計画及び事業実施がスムーズである。</li> </ul>	<p><b>【立地条件と防災性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>石狩川の溢水、洪水時には庁舎が浸水する可能性が高い。</li> <li>石狩川の堤防が決壊等する恐れがあるときは、事前に浸水想定区域外(総合体育館などの公共施設)に災害対策本部を移設する可能性があることから、人・車等の移動に若干時間がかかる。</li> <li>日影による周辺環境への影響が出る。(住民説明が必要)</li> <li>廃道による迂回道の新設により、近隣の交通環境が変わる。(住民説明が必要)</li> </ul> <p><b>【市民の利便性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病院、バス待合所からは若干遠くなる。</li> </ul> <p><b>【事業の経済性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>庁舎工事に先立ち、こども通園センター、総合福祉センターの解体工事が必要となる。</li> </ul> <p><b>【事業の実現性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>解体工事に伴い、こども通園センター、総合福祉センターの代替施設が必要となる。</li> <li>こども通園センター、総合福祉センターの改築若しくは複合化の場合は事務所が必要となる。</li> </ul>

建設概算事業費

土地取得費		—
基盤整備費	土地造成費	0.8億円～0.9億円
	道路整備費	0.3億円
	インフラ整備費(上下水など)	—
庁舎整備費	庁舎建設費(地上3階建一部2階建)	25.5億円～28.0億円
	駐車場整備費	1.4億円～1.6億円(旧庁舎跡地)
	外構整備費(排水工・植栽工含)	0.2億円～0.25億円
庁舎整備関連費	庁舎解体費	0.9億円～1.0億円
	既存施設解体費	0.5億円(総合福祉施設及びこども通園センター)
	仮設駐車場整備費	—
	関連施設整備費	3.0億円～3.5億円(総合福祉施設及びこども通園センター)
諸経費	庁舎什器備品費	2.0億円～2.3億円
	庁舎内ネットワーク整備費	3.1億円
	引越費	0.2億円～0.3億円
その他(設計費など)		1.2億円
合計		39億円～43億円

注) 建設事業費については、現時点での概算であり、今後の経済状況ならびに、建設市況、設計仕様などにより変動する可能性があります。

候補地⑨【JR社宅跡地】概略配置イメージ図（案）



候補地選定のための相対評価

メリット	デメリット
<p><b>【立地条件と防災性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道々芦別砂川線の広い道路に面し、周辺には警察や学校があり、住宅が広がる閉静な場所。</li> <li>ハザードマップにおける浸水想定区域外であるため、庁舎内に災害対策本部を置くことができる。</li> <li>敷地の広さは十分である。</li> <li>災害対策本部は庁舎内とし、全ての防災対応が可能である。</li> </ul>	<p><b>【立地条件と防災性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住居と文教ゾーンに近く、中心市街地から離れている。</li> <li>砂川中学校、砂川高校が近くにあり、前面道路が、生徒の通学路となっており、敷地への車の出入が多くなることを見込まれることから事故が懸念される。</li> </ul> <p><b>【市民の利便性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉関連施設や病院と遠くなるため、役所と関連用件を済ませる場合は不便となる。</li> </ul> <p><b>【地域活性化】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地からは外れ、商業地域への回遊性についての期待感は薄い。</li> <li>商業地域のにぎわいと行政サービス機能との連携がしづらい。</li> </ul> <p><b>【事業の経済性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>庁舎のみの建設で終わり、まちの広がりなど、周辺への移転効果の期待が持てない。</li> </ul> <p><b>【事業の実現性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>用地取得のため、JRと交渉の必要がある。</li> </ul>

建設概算事業費

土地取得費		0.9億円～1.1億円(土地公示価格による)
基盤整備費	土地造成費	1.1億円～1.2億円
	道路整備費	—
	インフラ整備費(上下水など)	—
庁舎整備費	庁舎建設費(地上4階建)	27.5億円～30.3億円
	駐車場整備費	1.4億円～1.6億円(旧庁舎跡地)
	外構整備費(排水工・植栽工含)	2.4億円～2.8億円
庁舎整備関連費	庁舎解体費	0.9億円～1.0億円
	既存施設解体費	—
	仮設駐車場整備費	—
	関連施設整備費	—
諸経費	庁舎什器備品費	2.0億円～2.3億円
	庁舎内ネットワーク整備費	3.1億円
	引越費	0.2億円～0.3億円
その他(設計費など)		1.2億円
合計		41億円～45億円

注) 建設事業費については、現時点での概算であり、今後の経済状況ならびに、建設市況、設計仕様などにより変動する可能性があります。